

### 第3学年 国語科学習指導路案

教科等	国語科	単元名	本に親しもう	本時	全6時間抜きの5時間目
学級	3年1組	授業者		教室等	2階 3年1組教室

#### <本時の指導>

<b>&lt;本時のねらい&gt;</b> 選んだ本のおすすめポイントを整理し、読書ボードに書きたい内容を話し合って決めることができる。	
	<p>主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p>
導入	<p>1. めあてを確認し、学習の見通しをもつ。【発見】 T:今日は、みんなで決めた一冊のおすすめするポイントを考えて、読書ボードに書く内容を話し合って決めましょう。</p> <p>おすすめポイントを整理して、読書ボードに書く内ようを決めよう。</p> <p>□話題設定の工夫 本時では本のおもしろさが伝わるように、おすすめするポイントを話し合う。話し合う内容を絞ることで考えが整理しやすくなり活発に交流できる。※焦点化</p>
展開	<p>2. 話し合いの手順を確認し、自分の意見を整理する。【発見】 T:話し合いの進め方と自分の意見を確認しましょう。 C:一番面白さが伝わる場所を紹介しよう。 C:同じ意見はまとめていけばすぐに決まるね。 C:主人公の面白さは、1年生に伝えたいな。</p> <p>3. グループで1年生におすすめするポイントを話し合いボードに書く内容を決める。【対話】 T:1年生に本の面白さが伝わるように、読書ボードに書く内容を決めよう。 C:本の中に出てきた面白い文章を書いたら、1年生が読みたいと思ってくれるかな。 C:登場人物がどんな子かを書こう。主人公が面白い子だから。 C:この二つの意見は同じことを書いているから、紹介しようよ。</p> <p>□話し合いの流れを提示し、自分たちで確認をしながら話し合いを進めていけるようにする。 □考えが思いつかない児童には登場人物、話の内容、文章表現、会話文に着目させて面白さを考えさせる。 ※焦点化、スモールステップ化 □ピラミッドチャートを活用して、自分たちの考えを整理しながら書く内容を決定する。※視覚化</p> <p>○話し合いの目的と視点の明確化 「1年生に紹介する本の面白いところを決めるため」という目的と、「自分の考えと同じところと違うところ」「1年生が「面白い」と思ってくれる内容はどれか」という視点を与える。</p> <p>○話し合いの話題の提示 話し合いの話題「友達の考えを受け止めよう」「理由を聞こう」「詳しく知りたいところを質問しよう」「考えを付け足して、広げよう」を示す。</p> <p>☆おすすめするポイントを整理して、読書ボードに書く内容を話し合って決めている。(観察・ワークシート)</p>
終末	<p>4. 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <p>□話し合いの振り返りを書く。 □次は班で協力して読書ボードを書くことを確認する。</p>

#### 【板書計画】

本に親しもう  
おすすめするポイントを整理して、読書ボードに書く内ようを決めよう。

やること  
① おすすめのポイントを出し合う。  
② 書きたい内ようを決める。

**目的**  
1年生に紹介する本のおもしろいところを決めるため

**視点**  
・自分の考えと同じところ、ちがうところ  
・1年生が「おもしろい」と思ってくれる内ようはどれか。

くわしくしりたいことをしつもんしよう。  
それについてどうおもおうかな？

ともだちのかんがえをうけとめよう。  
うんうん。たしかに。なるほど。そうだね。

かんがえをつけたして、ひろげよう。  
いもあるよね。どうしようかな？

りゆうをきこう。  
どうして〜なの？なんで〜とおもったの？

#### 【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

##### 話題設定の工夫

選んだ本の面白いと思った内容の中で、どれを紹介するのかということを決めた本を1年生に紹介することで、本単元への興味・関心を高めていけると考えた。また、自分達の読書経験を活かして本を紹介することによって自分の考えをもちやすくなると考えた。

##### 話し合いの話題の提示

話し合いの話題「友達の考えを受け止めよう」「理由を聞こう」「詳しく知りたいところを質問しよう」「考えを付け足して、広げよう」を提示することで、自分の考えとの共通点や相違点に気付き、より考えを深めていくことができ前向きな交流活動が促されると考えた。

(2) 「学び合う」ための手立て

##### 意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

同じ本が好きな人同士で4人のグループを組む。それにより本に対する思いが深まり、選んだ本に対する考えがたくさん出されて、学び合いが深まると考えた。

##### 交流の目的と視点の明確化

「1年生に紹介する本の面白いところを決めるため」という目的と、「自分の考えと同じところと違うところはどこか」「1年生が『面白い』と思ってくれる内容はどれか」という視点を与えることで、より児童が、話の中心を捉えながら話し合いができるようにする。